

## 7. 学校研究

### (1) 研究主題

#### 「主体的に学び、未来に向かってよりよく生きようとする子の育成」

～互いの思いや考えを受け止め、自己を見つめ直す児童をめざして～

### (2) 主題設定の理由

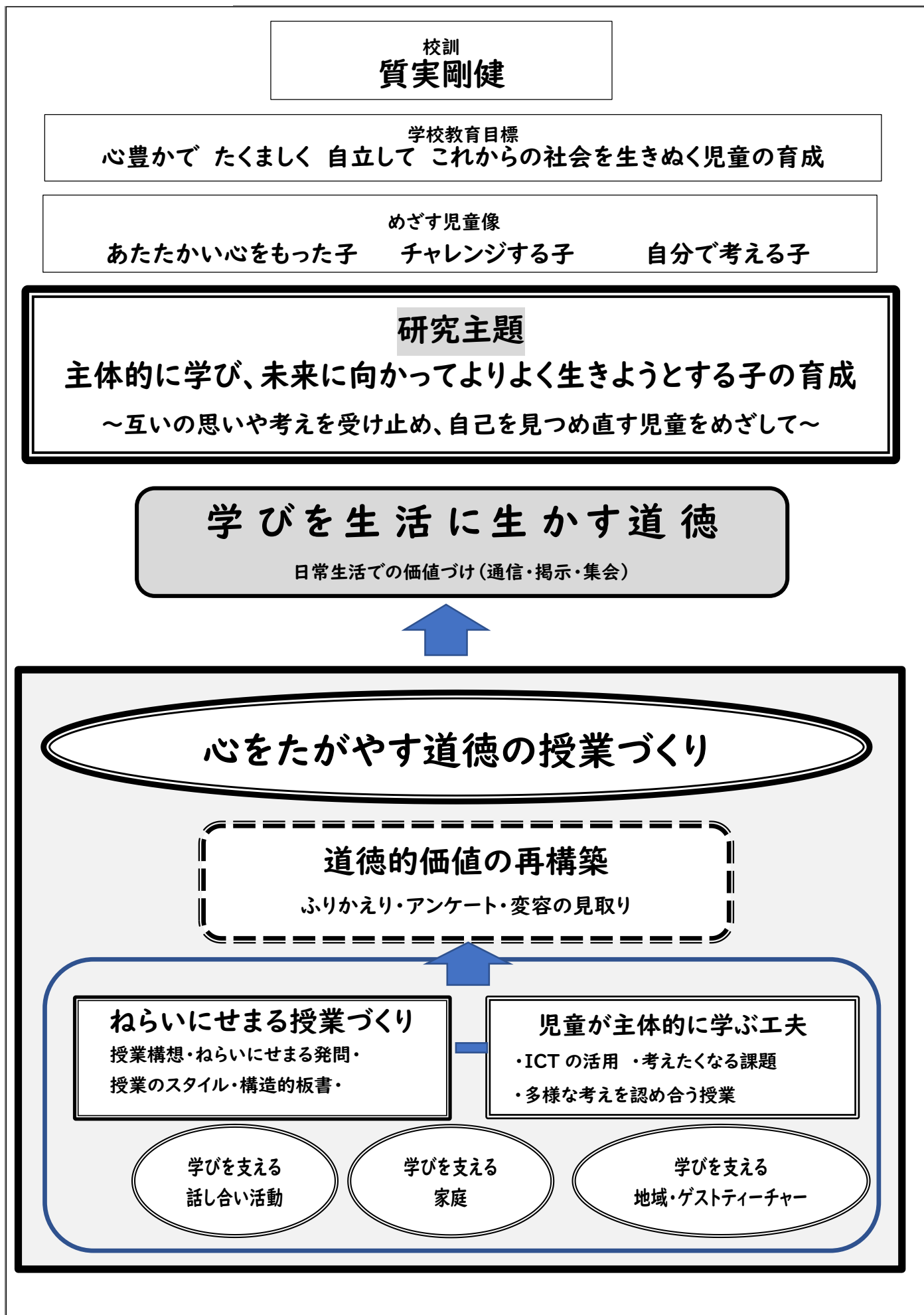
本校は昨年度まで、国語科を中心に学校研究に取り組んできた。研究では、単元を貫く言語活動に積極的に取り組むことで、子ども達は、自分の考えや思いを進んで表現できるようになってきた。今後は、国語科で付けてきた表現力を他教科、学校生活でも生かしていきたいと考えていた。

今年度は、「いしかわ道德教育推進授業」推進校の指定を受けたことを機に学校研究を「道德科」にすることとした。教師にとって学級経営や道德科の指導力向上の良い機会ととらえ、国語科でつけてきた子どもたちの思いや考えを伝える力を道德科でも生かしていきたいと考えている。

本校の児童は、落ち着いており、言われたことに対しては素直に、そして真面目に取り組む。しかし、主体的に「何かをしたい。」「よりよくしていきたい。」という思いがやや弱い。また、少人数であるが、自分の思いを優先し、正しい判断が難しい児童も見うけられる。そこで今年度も昨年度の重点項目「善悪の判断、自律、自由と責任」に継続して取り組む。そして、自己を見つめ直し、互いの考えの交流を重ね主体的に「こうありたい。」「今の自分をよりよくしていきたい。」と考えられる児童の育成を図っていく。それらの思いを踏まえ、研究主題を「主体的に学び、未来に向かってよりよく生きようとする子の育成～互いの思いや考えを受け止め、自己を見つめ直す児童をめざして～」とした。

現在の子ども達の生活している社会は、考え方が多様化し、複雑化している。今年度の本校の道德の授業では、話し合いをする十分な時間を確保し、互いの価値観に触れたり互いの考えを受け入れたりしながら、今後の自らの「よりよい生き方」を考えさせていきたい。また、道德の時間だけではなく、家庭や地域とも連携をしながら子どもたちが学校以外でも希望をもって前向きな生活を送ることができるよう組織的に研究を進めていきたい。

(3) 研究構想図



#### (4) 研究内容

##### ①ねらいにせまる授業づくり

- ・ねらいにせまる授業構想（授業構想シートの作成）
  - ・道徳授業スタイルの確立
  - ・構造的板書
  - ・ねらいにせまる発問の工夫
  - ・多様な考えを生かすための言語活動の工夫
- 例 ICT の活用・ペア・グループ・役割演技・顔マーク

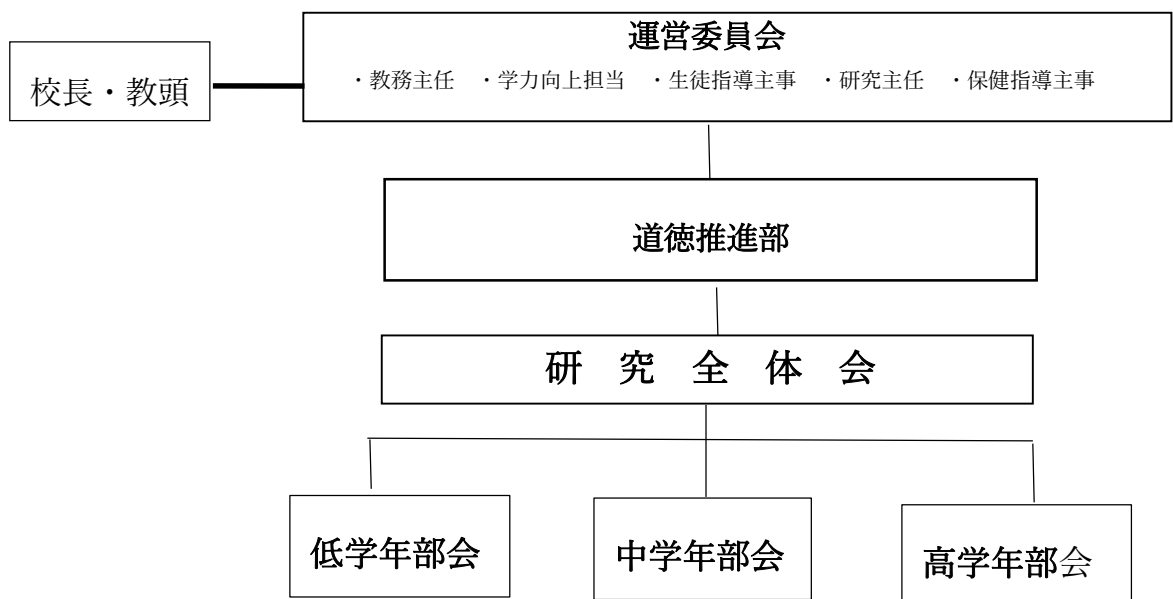
##### ②家庭や地域と連携した道徳授業の実践

- ・ゲストティーチャーの活用（地域人材の活用）
- ・家庭への授業公開
- ・道徳だよりの発行

##### ③指導と評価の一体化

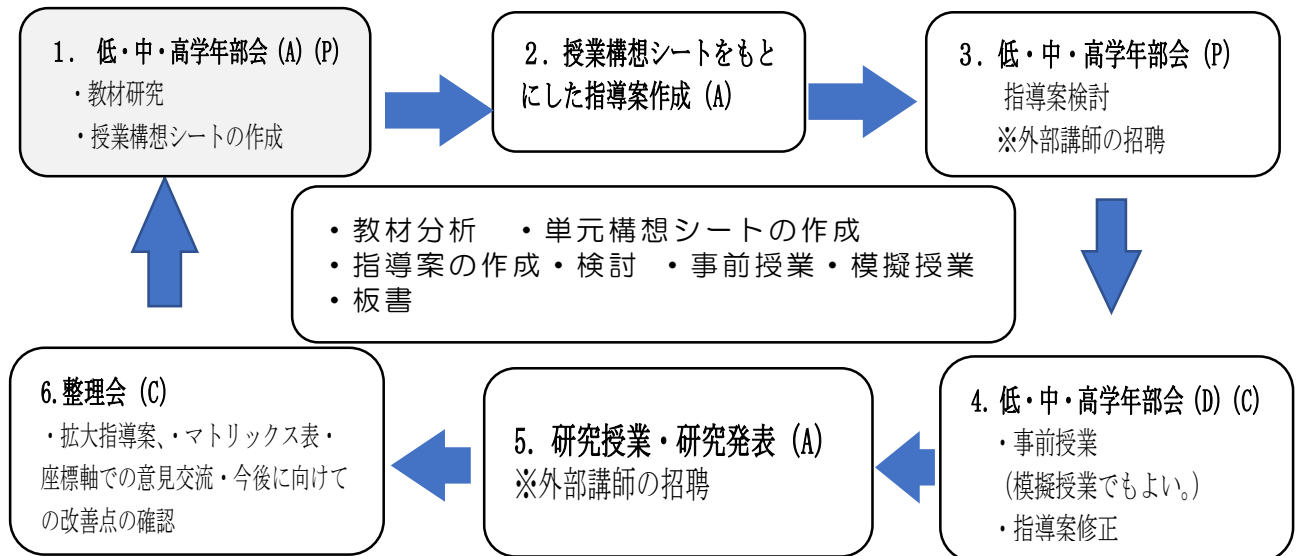
- ・アンケート
- ・授業を通しての児童の変容のみとり
- ・ふりかえりの充実

#### (5) 研究組織



## (6) 研究方法

### ①全学年の研究授業



※フリー公開授業週間を設け、指導力向上を図る。

### ②ねらいにせまる授業づくり (構想シートの作成)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |        |                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 錦城小学校 授業構想シート<br>主体的に学び、未来に向かってよりよく生きようとする子の育成。<br>～互いの思いや考えを受け止め、自己を見つめ直す児童をめざして～                                                                                                                                                                                                                                             |        | 授業日: 令和 年 月 日 ( )<br>主題名 _____<br>教材名 _____ ( 年 ) 出版社名 _____                               |
| 学習指導要領 A<br>低<br>中<br>高                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |        |                                                                                            |
| 本時のねらい                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |                                                                                            |
| ①子どもがすでに知っている事 (○)・まだ気づいていないこと、実際の姿 (△)                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ②本時の学び | ③授業後の児童の姿 (ふりかえり) (子どもの言葉で) 重要                                                             |
| <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>考えたいくなる考える意味のある中心発問</p> <p>教材で見えている事・事実</p> <p>登場人物の心の中</p> <p>行為のもととなる価値</p> </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教材で見えている事・事実</p> <p>登場人物の心の中</p> <p>行為のもととなる価値</p> </div> </div>                                                  |        | <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 10px;"> <p>板書計画</p> </div> |
| 【中心発問】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        | 効果的な話し合い活動 ( ) の場で行う。用○を付けてください                                                            |
| 予想される児童の反応 (類型化)                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |                                                                                            |
| 【深める発問】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |        |                                                                                            |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>形態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア</li> <li>・グループ</li> <li>・全体</li> </ul> </div> <div> <p>ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャムボード (思考ツール)</li> <li>・メンタimeter</li> <li>・スライド</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> </div> </div> |        |                                                                                            |

- ③「考え・議論する道徳」の授業づくりに向けた共通実践を行う。  
・思いが伝わる「話し方」、相手の思いや考えを受けとめる「聞き方」

## 思ったことを自由に話せる話し合い活動

### 温かい雰囲気での話し合い

- ・受容の姿勢…「あったかキャッチ言葉」の多用を促す。  
話し手を否定せずに、一度自分の中に取り入れて考えをかみ砕く姿勢を指導する。  
「途中で話を切らずに最後まで聞く」など最低限のマナーを統一する。
- ・伝える姿勢…ノート等ではなく聞き手の顔を見ながら話すことを意識させる。  
「話し合いのテーマにあった雰囲気」を理解できるような指導をする。

### ねらいにせまる話し合い

- ・考えを広げる…「質問わざ」を活用して話の幅を広げる。  
「一人ずつ自分の考えを一つずつ言う」回し方をする。
- ・考えを深める…「質問わざ」を多用して、話の内容を掘り下げる。  
誰かの発言に対して「私だったら」「この場合だったら」と、仮定して話を繋げる回し方をする。

### 考えを再構築させる話し合いのまとめ

- ・自己の変容…最初の自分の思いや考え方が、他者の意見に触れることによって「変化した」「より強固なものになった」と自覚させる。
- ・新たな気づき…他者の思いや考えが「今までの自分には無かった」道徳的価値に関して既存の知識とは「別の面があることを知った」と認知させる。
- ・自己に生かす…自己の変容や新たな気づきを得て、「明日から～したい」「こんな時には～する」と自分の生き方に汎用することに価値をもたせる。

- ④道徳アンケートや児童のふりかえり、変容による検証・評価・改善の徹底を図る。

### 道徳アンケート 項目

- ① あなたは、道徳の時間がためになると思いますか。(道徳の時間の有用性)
- ② あなたは、道徳の時間に友だちの考えを聞きながら、自分のことについてよく考えていますか。(道徳の時間における自己の振り返り)
- ③ あなたは、道徳の時間に友だちの考えを聞いて、「はっ」としたり、「なるほど」「同じ考えだな」と思ったりしたことはありますか。  
(道徳の時間における新たな道徳的価値の自覚)
- ④ あなたは、道徳の話し合いは好きですか。(道徳の時間に対する意識)
- ⑤ あなたは、道徳の時間に学習したことを、生活の中で思い出したことがありますか。  
(道徳の時間と日常生活の関連)
- ⑥ あなたは、道徳の時間に学習したことを家の人に話したことがありますか。  
(家族との共有)

| ふりかえりの書きかた                |                                                                                                                          |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 考えたこと<br>広がったこと<br>深まったこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったこと</li> <li>・学んだこと</li> <li>・友達から学んだこと、</li> <li>・前の自分と比べて変わったところ</li> </ul> |
| 学びを生かす                    | ・これからの生活にいかしたいこと。                                                                                                        |

アンケート実施時期  
学期始め・学期末に行い、児童  
の変容を見取る。

【1 学期】4 月 7 月  
【2 学期】10 月上旬 11 月  
発表前  
【3 学期】2 月